

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：2年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子は、特に立ち幅跳びや長座体前屈などの結果が高いことから、すばやく動き出す能力や大きく関節を動かす能力に優れている。
- 女子は、特に20mシャトルランや立ち幅跳びの結果が高いことから、運動を持続する能力やすばやく動き出す能力に優れている。
- 男女とも、反復横跳びのすばやく動作を繰り返す運動である敏しょう性に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 保健体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・級友との交流を通して、動きのポイントやコツについて学び合える活動の設定
- ・体育の授業に合わせた、準備運動で各単元に応じた運動を取り入れること
- ・毎時間の振り返り活動で、次時につながる振り返り活動の設定

②改善を図る点

- ・体力測定の結果から、課題のある能力を高めるための運動を、体育の時間に準備運動で継続して行うこと
- ・45分授業の中で、授業の75%以上の活動時間の確保すること
- ・ICTを活用することで、自分の動きを分析し、改善に努められるような機械を設定すること

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・日常的に運動することへの意識を向上させるため、体力アップシートを活用し、運動の計画を立て、フィードバックまで行う。
- ・朝食摂取率を向上させるため、朝食を摂ることのメリットを理解させ、さらに家庭への呼びかけを行う。